



建物全壊率は、個々の建物の構造や建築年を基に大字ごとに平均化し、そこにメッシュごとの揺れの強さを与えることで建物被害の危険性を求めたものです。そのため、同じ地域であっても揺れの強さによって建物全壊率が異なります。ただし、危険性の高いメッシュ内であっても耐震性の高い建物は壊れにくく、反対に全壊率の低いメッシュ内でも老朽化した建物は倒壊する可能性があります。※メッシュ内に存在する個別の建物を対象に建物全壊率を表したものではありません。※一つのメッシュは、約50メートル四方に区切ったものです。

建物全壊率

20%以上
10%以上20%未満
5%以上10%未満
1%以上5%未満
1%未満

